

平成29年7月14日

『京都市スタートアップ支援ファンド』  
6社目、7社目の投資実行のお知らせ

京都信用金庫

◆趣旨◆

フューチャーベンチャーキャピタル（株）を無限責任組合員（ファンド運営者）、京都信用金庫、京都中央信用金庫及び京都市リサーチパーク（株）を有限責任組合員として、平成28年4月28日に組成された「京都市スタートアップ支援投資事業有限責任組合」（通称：京都市スタートアップ支援ファンド）が第6号及び第7号の投資を実行しましたので、お知らせいたします。

6社目 平成29年6月30日実行

◆投資先企業の概要◆

- (1)企業名 レグセル株式会社
- (2)代表者 代表取締役 松田 直人(まつだ なおと)
- (3)事業内容 免疫細胞を活用した最先端医療技術の開発及び実用化
- (4)所在地 京都市上京区河原町通今出川下ル梶井町 448-5  
クリエイションコア御車 214 室
- (5)設立 2016年1月27日
- (6)投資額 10,000 千円
- (7)投資方法 第三者割当による同社発行の種類株式引受け
- (8)その他 免疫学分野で世界トップクラスの坂口志文教授（大阪大学名誉教授兼京都大学名誉教授）及び河本宏教授（京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授）の技術を基に設立された、京都大学発ベンチャー企業

◆投資先企業及び投資の概要◆

投資先企業は、坂口・河本両教授の持つ高品質な T 細胞を量産する技術を導入し、免疫細胞を活用した最先端医療技術の開発を目的に、2016年1月に設立された京都大学発ベンチャー企業です。

同社が開発を進める制御性 T 細胞を活用した治療技術は、リウマチに代表される自己免疫疾患治療や生体移植時の免疫拒絶反応の抑制に極めて有効と考えられています。また、同時に開発を行う iPS 細胞技術を利用したキラーT 細胞によるがん免疫治療についても、高い治療効果が期待されています。同社では、この 2 つの治療領域で数年内に臨床応用を実施すべく研究開発を進めております。

今回の投資は、免疫細胞医療の実用化に向けた量産培養手法の開発費を支援するもので、今後の事業拡大が大いに期待されています。

7 社目 平成 29 年 7 月 14 日実行

◆投資先企業の概要◆

- (1)企業名 株式会社ハカルス
- (2)代表者 代表取締役 藤原 健真(ふじわら けんしん)
- (3)事業内容 食事・健康管理スマートフォンアプリ開発・データ解析
- (4)所在地 京都市中京区新町通姉小路下る町頭町 112 番地
- (5)設 立 2014 年 1 月 14 日
- (6)投資額 10,000 千円
- (7)投資方法 第三者割当による同社発行の新株予約権付社債引受け
- (8)その他 ①2017 年 8 月

平成 28 年度京都市健康長寿産業事業化促進補助金採択

②2017 年 6 月

日本政策金融公庫京都支店国民生活事業資本性ローン実行

◆投資先企業及び投資の概要◆

投資先企業は、独自に収集した 11 万件を超える食事データをベースに、食事指導・健康管理スマートフォンアプリの開発と B2B 向け関連サービスの提供を行う、2014 年 1 月に設立されたベンチャー企業です。

同社が開発したスマートフォンアプリ「HACARUS」は、ディープラーニングによらない独自の人口知能をスパースモデリングという技術を用いて構築しており、日々の食事内容の簡単な入力等少ない情報でも本質的部分の抽出を実現し、他社に真似の出来ない高精度な食事・健康管理サービスの提供を可能にしています。今後は、このアプリをフィットネスクラブ、社員食堂運営会社、大企業健康保険組合や生命保険会社等の事業者向けに本格展開し、事業を拡大して行く計画です。

今回の投資は、スマートフォンアプリ「HACARUS」の開発継続と販売プロモーション費用を支援するもので、今後の事業拡大が大いに期待されています。

以上